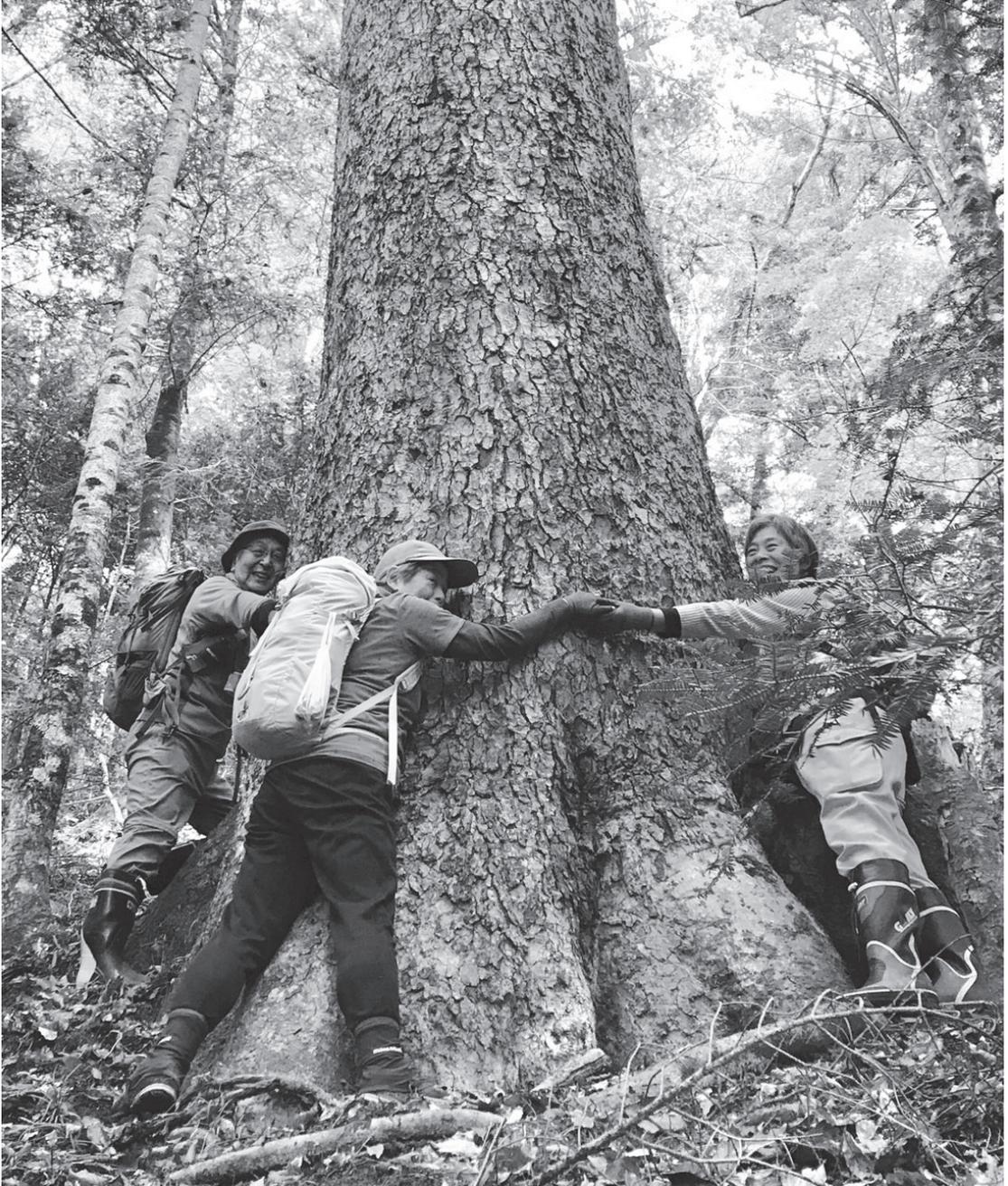


# 蕃山の四季

題字 星 智雄

発行 ■ 蕃山21の会

2021年3月1日 第52号





# 総 会 報 告

## 令和2年 総務部会報告

- 1月27日：仙台森林管理署に「ふれあいの森」の年間活動報告書、年間活動計画書、入林の連絡を送付しました。
- 2月9日：折立市民センターに於いて総会を開催しました。終了後、飯田正量氏の「スライドで水の森の地層・土地の成り立ちを探る」の講話がありました。
- 2月14日：林野庁から県水産林政部森林整備課をとおして「山火事予防運動実施」につき、林野火災に対する未然防止に努める協力} 要請がありました。
- 2月15日：宮城県水産林政部森林整備課主催の「みやぎ森林保全推進活動研修会」を受講しました。
- 3月2日：仙台市ボランティアセンターに活動状況調査票を提出しました。
- 3月10日：環境省自然環境局国立公園課から県環境生活部自然保護課を通して環境省ホームページ「自然大好きクラブ」に行事予定の掲載を希望するか否かの問い合わせがあり、掲載を希望し、「親しむ部会」の行事予定を提出しました。
- 3月12日：仙台森林管理署より、「ふれあいの森」に東北大学助教の太田氏が学術的研究のため入林する旨の連絡がありました。
- 3月24日：宮城県水産林政部森林整備課と平成27年に締結していた「みやぎ森林保全推進協定」が期間満了となり、更新しました。
- 4月11日：宮城県環境生活部自然保護課より、ホームページ「みやぎ自然ふれあい情報の森」に行事予定の掲載要請があり、提出しました。
- 6月5日：元会長高橋義寛氏をご逝去されました。
- 6月18日：仙台森林管理署に「ふれあいの森」協定継続の申し入れ書を提出しました。
- 7月20日：仙台森林管理署より新型コロナウイルス感染症対策に関する書簡が送信されました。
- 9月24日：仙台森林管理署に「ふれあいの森」における協定更新申請書を提出しました。
- 10月6日：仙台森林管理署よりCSF（豚熱）の発生予防及びまん延予防の対策につき協力要請の書簡が送信されました。
- 10月6日：仙台市立愛子小学校より、4年生の蕃山登山サポート依頼がありましたが、その後、熊出没情報がでたため、本番（29日）の登山は中止になりました。
- 10月8日：大梅寺住職に顧問を依頼しました。
- 10月11日：愛知絢子さんの「お別れの会」が江陽グランドホテルで行われ、4名参加しました。
- 10月16日：鈴木仙台市議、鈴木仙台市農林土木課長との蕃山違法伐採地の件で話し合いをしました。
- 11月15日：蕃山登山道の整備に協力するため、折立学区町内会連合会・折立素敵物語実行委員会に賛助金（3,000円）を支出しました。
- 11月30日：登山者から要望のあった西風蕃山近くの枯損木を片づけました。
- 12月7日：東北電力より、本日から蕃山の送電線整備を行う旨の連絡がありましたので、送電線下の稀少樹木の保存に従来どおり配慮していただくことにしました。

(4)

## 保護部会 活動報告 (令和2年)

月 日	参加人数	内 容
6月～9月	延20名	折立学区町内会連合会・折立素敵物語実行委員会実施の登山道整備に協力しました。
6月12日	17名	違法伐採地の植樹：コナラ150本。青葉産業(株)、みどり十字軍、仙台市農林土木課他と合同で実施しました。(総勢30名)
9月2日	4名	蕃山パトロール：山岸コース～西風蕃山～見晴台コース 山岸コース「カブトムシの森」のレンゲツツジ確認と刈払い防止範囲を決めました。また、アズマレイジンソウの生息を確認しました。
9月8日	1名	奥田建設(株)にレンゲツツジの保護についてお願いしました。
10月4日	4名	蕃山パトロール：大梅寺～開山堂までを巡視し、標識設置場所等について折立学区町内会連合会・折立素敵物語実行委員会に提案しました。
10月26日	11名	違法伐採地の植樹：コナラ100本。青葉産業(株)、仙台市農林土木課他と合同で実施しました。(総勢22名)
11月30日	6名	蕃山パトロール：白滝コース～百年の森～錦が丘コース 市民から要望のあった西風蕃山近くの倒木・枯損木を片付けました。
12月11日	2名	蕃山パトロール：栗生中コース～開山堂～見晴台コース 仙台幹線No.53～54間支障木伐採中、サラサドウダン数本の不伐採を確認しました。 50代夫婦に勧誘チラシを配布しました。

### 【総括】

#### ①違法伐採の原状回復について

平成26年度より実施されてきた違法伐採地の植林については、令和2年度をもって完了しました。当会は令和元年から協力しました。

#### ②太陽光発電パネル設置の動向について

蕃山および周辺地域で太陽光発電パネルを設置しようとする動きが散見される中、「蕃山・サイカ子沼緑地環境保全地域」の自然破壊を防止するため、その動向に引き続き注意していく必要があります。

#### ③蕃山定期パトロールの実施について

令和2年後半から、違法伐採や自然破壊行為の監視、また、登山道の通行支障となる枯損木(倒木)の処理をするため、蕃山パトロールを行いました。

## カンパありがとうございました

愛知 絢子	小野 郁子	佐藤 尚洋	深野 稔生
合野口 敏	鹿野 喜榮子	嶋森 邦和	船渡 恒男
相原 敏子	叶 芳雄	鈴木 宏一	松本 愛子
赤坂 勝洋	菅 恵子	関 幸子	水澤 祐子
浅野 進	桑 折達雄	高橋 建一	嶺岸 實
井澤 とみ子	小出 湧子	高橋 基明	宮川 美代子
石田 眞夫	小山 敏男	高橋 義寛	米谷 俊男
伊藤 俊次	寒河江 せつ子	津久井 宏助	我妻 ふみ
伊藤 平次	佐竹 信治	津國 惣助	

## 広報部会 活動報告 (令和2年)

1. 会報「蕃山の四季」51号を3月10日発行しました。
2. 検索エンジンを立ち上げ、アドレスバーに「蕃山21の会」と入力し、検索すれば、「蕃山21の会」がサイト上位に表示されるようになり、誰でも「蕃山21の会」のホームページにアクセスすることができるようになりました。
3. 親しむ部会5回、ふれあいの森部会1回（自然観察会）の参加募集を新聞（河北新報）に掲載しました。
4. 蕃山21の会の情報発信手段として、ホームページのほか、新たにInstagramの開設を準備しています。
5. 右記のQRコードで「蕃山21の会」のホームページが閲覧できます。



## 新入会員募集中

みなさんの周りに、蕃山の自然を守る活動や、  
緑のボランティア活動に興味をもっている方がいたら  
ぜひ紹介をお願いします。

**蕃山周辺にお住まいの方大歓迎!!**

### 『蕃山21の会』とは

- 蕃山は、仙台市中心部の近くにありながら里山として信仰と伝説と歴史があるばかりでなく、多様な動植物が生息するかけがえのない山で、仙台市民等の憩いの場となっています。
- 『蕃山21の会』は、このような蕃山およびこれに連なる優れた自然環境ならびに自然と一体になっている文化・社会・歴史環境に配慮しながら自然を保全し、多くの人が自然に親しみ、新たな緑の文化を創造して、将来の世代に引き継ぐことを目的に、平成3年10月に結成されました。

### どんな活動をしているの？

- ① 蕃山およびこれに連なる自然環境および文化・社会・歴史環境の保全
- ② 自然保護に関する普及・啓発
- ③ 具体的には、「保護部会」、「親しむ部会」、「ふれあいの森部会」の3部会を主として活動しています。

(注:「蕃山21の会」の活動内容をお知りになりたい方は、HP(『蕃山21の会』で検索)をご覧ください。)

### 活動している仲間の声!

野山を歩いて心と体が健康になった気がします。また自然の中で活動することは、心に潤いと安らぎを覚えます。

長年活動を続けてきた結果、社会や地域のために貢献している、との自覚が芽生えてきました。

自然の中で仲間と一緒に活動することは、体力と認知機能の低下の予防にも役立つことが分かり、家族も大変喜んでます。

活動を通じて植物の名前を覚えたので、孫と山歩きする際に教えています。

お申込み・お問合せ先

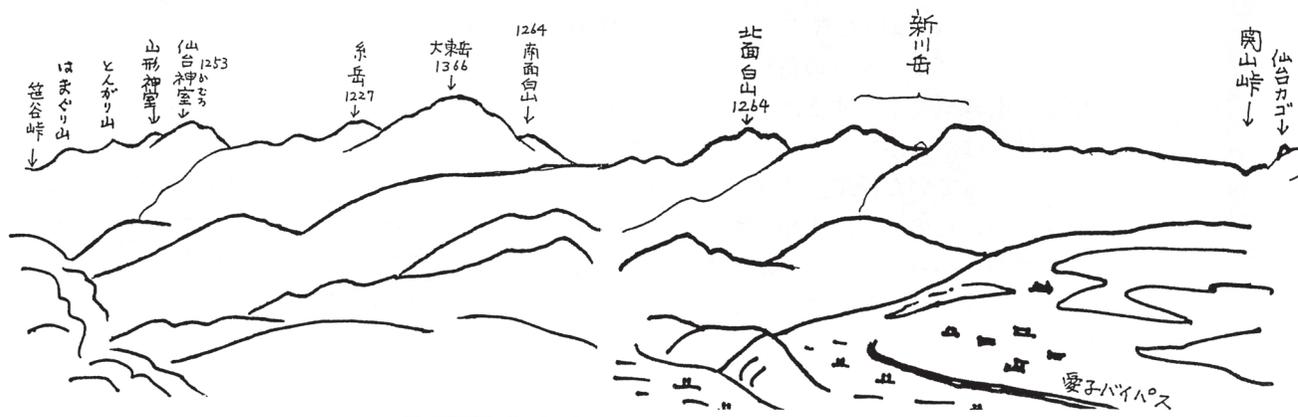
『蕃山21の会』 塚本 ☎ 022-391-8646

## 親しむ部会 活動報告 (令和2年)

月 日	行事名及びコース	参加人数	下見
4月11日(土)	蕃山 (栗生1丁目コース～開山堂～西風蕃山)	コロナ影響により中止	4/4
5月10日(日)	七ツ森遊歩道	11名	5/2
6月7日(日)	秋保北山	27名	5/30
7月19日(日)	豆沢沢歩き	増水により中止	7/14
8月	休み		
9月12日(土)	作並大沼	雨により中止	9/5
10月17日(日)	サイカチ沼から岩元山	28名	10/6
10月29日(木)	愛子小学校蕃山登山	熊出没により中止	10/12 雨天中止
11月15日(日)	県民の森	30名	11/11
12月5日(土)	蕃山 (黒滝コース～蛇台～西風～萱ヶ崎～開山堂)	35名	11/22

## 〈1年の活動を振り返って〉

- 4月：親しむ部会新メンバーによるスタートの予定でしたが、2月からのコロナウィルスの影響で中止となりました。
- 5月：雨模様でしたが、歩くにつれて日差しも出て、七ツ森遊歩道沿いにヤマブキソウが数百メートルに亘って咲き誇り素晴らしい景観でした。
- 6月：大勢の参加者で秋保北山で初めて見たオオバアサガウは素晴らしく、また一段と緑濃くなった森を皆さんと歩き、工芸の里辺のニッコウキスゲ群落も目を楽しませてくれました。
- 7月：37名の参加申し込みでしたが、連日の雨で増水し危険と判断し、中止となりました。
- 9月：32名の申し込みがありましたが、終日雨の予報で中止となりました。
- 10月：小雨の中のスタートでしたが岩元山を登り、ふれあいの森の植物観察などで皆さんに喜んで頂きました。また、深野稔生元会長の参加で、大変盛り上がりました。
- 10月29日：愛子小学校4年生100名の蕃山登山の同行依頼（6名）がありましたが、クマ出没情報により、中止となりました。
- 11月：県民の森の隠れたスポット（岩切城跡・橋本邸・山口青邨の碑）を歩き、その後、モミジの道～水辺の道へいどうし、真っ盛りの道～水辺の道へ移動し、真っ盛りの紅葉を楽しみました。
- 12月：今年最後の月例会で蕃山四座（蛇台蕃山～西風蕃山～萱ヶ崎～蕃山（開山堂））を登りました。歩きごたえのあるコースで皆さん怪我もなく無事登り切り、満足された表情でした。

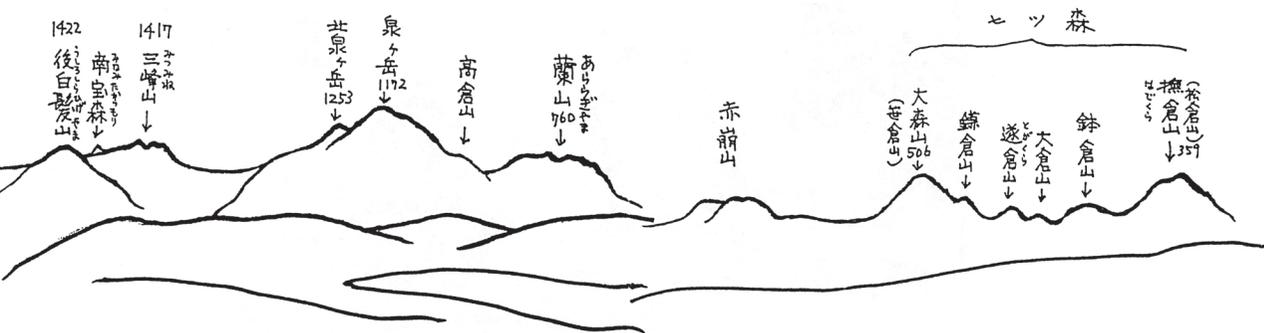


## ふれあいの森部会 活動報告 (令和2年)

月 日	作 業 内 容	参加人数
4月7日(火)	新型コロナ感染症警戒のため中止とする。	
4月26日(日)	同上	
5月15日(金)	枯損木等の整理 今年最初の作業のため、ふれあい森全体の自然観察及び状況確認をした。 1 伐区の枯損木及び石の片付をした。	10名
5月29日(金)	ササ刈り他 1 伐区の沢側のササ刈り及び遊歩道整備をした。	9名
6月13日(土)	ササ刈り及枯損木等の整理 5 伐区のササ刈り及び枯損木の片付をした。	12名
6月28日(日)	ササ刈り及び枯損木等の整理他 林道のササ刈り及び枯損木の片付けと2 伐区の遊歩道の整備をした。	11名
7月11日(土)	ササ刈り及び枯損木等の整理 遊歩道のササ刈り及び枯損木の片付をした。	9名
7月27日(日)	ササ刈り及び枯損木等の整理 6・7 伐区のササ刈り及び枯損木の片付をした。	12名
9月1日(月)	雨天中止	
9月4日(金)	ふれあいの森林道の整備他 ふれあいの森入口の林道及び駐車場の整備、及び観察会の下見をした。	9名
9月18日(金)	自然観察会 仙台森林管理署から米田署長及び村上森林官を招き、樹木を中心に自然観察会をした。	21名
10月5日(月)	岩元山登山道及び林道の整備 登山道及び林道の整備をした。	11名
10月20日(火)	枯損木の整理 多くの倒木の整理をした。	9名
11月7日(土)	ササ刈り及び枯損木の整理 1 伐区の草及びササ刈りと倒木の整理をした。	10名
11月24日(火)	ササ刈り及び枯損木の整理 2・3 伐区のササ刈り及び枯損木の整理をした。	14名

## 〈作業報告〉

- 毎年、枯損木の整理、ササ刈り等で森全体が明るくなり春にはカタクリをはじめ多くの植物が花を付け昆虫や、野鳥などが多く見られる様になりました。
- 森の作業にはチェーンソー、草刈り機をはじめ道具を使い危険が多くありますが、幸い今年も無事故で終わりました。



蕃山山岸コース展望台からのながめ

会報38号からの再掲

(8)

## 令和2年 収支報告

自：令和2年1月1日 至：令和2年12月31日

### 収入の部

(単位：円)

項 目	今年予算	今年実績	内 訳
前年繰越金	454,338	454,338	
年 会 費	100,000	98,000	98名×1,000円
カ ン パ	80,000	93,000	
親しむ部会参加費	0	38,600	行事参加料
ふれあいの森部会参加費	0	0	”
雑 収 入	10	1	受取利息
合 計	634,348	683,939	

### 支出の部

(単位：円)

項 目	今年予算	今年実績	内 訳
総 務 部	70,000	75,786	総会費(案内ハガキ、会場使用料等)：25,013 役員会費、資料コピー代等：21,354 事務用品費等：558 口座徴収料金(郵便局年会費手数料)：11,919 その他(蕃山登山道整備賛助金等)：16,942
保 護 部 会	100,000	4,829	違法伐採地植樹時の飲み物等
広 報 部 会	120,000	126,620	会報作成費、印刷費、発送費等
親しむ部会	0	43,734	保険料、写真郵送料、下見代、 ハンズフリー拡声器等
ふれあいの森部会	30,000	23,454	燃料費、草刈機使用料、蜂駆除費、替刃代等
予 備 費	314,348	0	
次年繰越金	0	409,516	
合 計	634,348	683,939	

上記の通り報告致します。

令和2年12月20日

総務会計 忍頂寺 裕 子 印

## 令和2年 監査報告書

当会令和2年の収支報告書に関する関係諸帳簿について監査した結果、正確かつ適正に処理していることを確認したので報告いたします。

令和3年1月19日

監 事 遠 藤 充 印

# 一年を振り返って活動風景

## 保護部会



6/12 植樹風景



10/26 植樹風景



11/30 倒木の片付け

## ふれあいの森部会



5/15 枯損木の整理



7/11 枯損木の整理



9/18 自然観察会

# 一年を振

## 5月10日 七ツ森遊歩道



当日朝は、雨が心配されての信楽寺跡のスタートでしたが、歩くにつれて天気が良くなり、種々の花が見られました。

コンロンソウの白色、ラショウモンカズラの紫色、ヤマツツジの赤色、トリガタハンショウヅルのクリーム色等々……

しかし、何といっても圧巻はヤマブキノウの大群落でした。

何年も七ツ森遊歩道は歩いていたのですが、林道沿いに数百メートルも続く黄金色のヤマブキノウを見たのは初めてでした。

一日も早いコロナの終息を願い、新緑の中に輝きを見せてくれた花たちに感謝した一日でした……

(叶 芳雄)

新型コロナの影響で自粛、自粛の中で出発……

高い木が陽を遮り、爽やかな森林浴。

蝶々のようなヤブデマリ、高い所にあるオオバアサガラが目前にあり、よく観察することができました。

ニセピーク前の急勾配をロープを使って登り切り、四等三角点の山頂へ。

木漏れ日の中での昼食、ヒノキ林の足下のイワウチワの群落

そして東屋のあとシャープな黄色のニッコウキスゲを見ながら無事、下山しました。

(佐竹 信治)

## 6月7日 秋保北山



## 10月17日 サイカチ沼



「サイカチ沼から岩元山、ふれあいの森ハイキング」に参加して。

心配された空模様も、洒落や冗談を交えた熱心な解説に免じてか、最後まで雨に濡れずに歩けたのは何よりでした。樹林帯の起伏のある道は良く整備され、30人近い参加者は安心して秋の草花や紅葉を楽しんでおりました。

ふれあいの森の滝の前での記念撮影や溪流の渡渉、吊り橋渡り等で童心に帰った一日でした。準備や引率に当たられた皆様にあらためて感謝申し上げます。

(平尾 達郎)

# り返って

## 親しむ部会

**11月15日** 県民の森 紅葉



11月中旬を迎え遠くに見える高い山波も冬化粧となり冬の到来を待つばかりの今日この頃、そんな中今回県民の森において皆様と一緒に紅葉を眺めながらの楽しい一時を過ごすことが出来、今年も素晴らしい晩秋の一齣(くぎり)を残す事が出来ました。皆様に感謝申し上げます。これから先、日増しに寒くなって来ますのでご自愛下さい。(合野口 敏)

**12月5日** 蕃山



今年度最後を飾るに相応しい蕃山四座踏破となりました。

天候にも恵まれ何といってもメンバーがいい。ビオトープ駐(9:40分)から黒滝コース→蛇台蕃山→西風蕃山→菅ヶ崎山→蕃山開山堂へ。途中樹木の説明、高圧線にまつわる話など皆さん興味深く聞き入っていました。菅ヶ崎からの下りは、多少難儀を覚悟していたが踏み跡がしっかりしていて安堵。植林活動の成果も確認でき、将来に希望を抱かせる山行になった。貴重な動植物を身近に観察できる蕃山であってほしい、と願いながら西館跡(14:30)へ下山。総勢35名の参加でした。

また、来年も元気で会いしましょう。

(山内 昭夫)

## 保護部会 活動計画（令和3年）

月 日	参加者	内 容			
1月1日(金)	2名	・ 蕃山パトロール（栗生中コース～開山堂～西花苑コース）			
1月10日(日)	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蕃山パトロール（見晴台コース～百年の森～開山堂～西花苑コース）</li> <li>・ 見晴台コース：マンサク倒木（直径10cm、2本）切断処理</li> <li>・ 百年の森：モミジ倒木（直径30cm、2本）切断処理</li> </ul>			
1月25日(月)	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蕃山パトロール（栗生東コース～開山堂～百年の森～見晴台コース） （大梅寺コース～開山堂～西花苑コース）</li> <li>・ 百年の森付近：コナラ倒木（直径30cm、1本）切断処理、 タカノツメ倒木（直径30cm、1本）切断処理</li> <li>・ 展望台：ヤマハンノキ倒木（直径20cm、1本）移動処理</li> </ul>			
月 日	参加者	内 容	月 日	参加者	内 容
2月1日(月)		蕃山パトロール	7月19日(月)		蕃山パトロール
2月15日(月)			8月2日(月)		
3月1日(月)			9月6日(月)		
3月15日(月)			9月20日(月)		
4月4日(日)			10月4日(月)		
4月19日(月)			10月17日(日)		
5月3日(月)			11月1日(月)		
5月16日(日)			11月15日(月)		
6月7日(月)			12月6日(月)		
6月21日(月)			12月20日(月)		
7月5日(月)					

### 【注】

- ①実施予定日：天候等により変更になる場合がありますので、参加者は事前に塚本（☎022-391-8646）までご連絡ください。
- ②集合時間：実施予定日が4/4(日)、5/16(日)、10/17(日)は9時30分、それ以外の実施予定日は9時00分。(変更になる場合は事前に連絡します)
- ③集合場所：ピオトープ駐車場。(変更になる場合は事前に連絡します)
- ④服装・持物：参加者は、倒木処理作業等に適した服装・作業靴を着用し、タオル、軍手、帽子、飲み物等を持参のこと。なお、昼食は原則として持参不要です。

## 広報部会 活動計画（令和3年）

1. 会員募集案内と蕃山登山道の地図を入れた両面刷りのチラシを作成し、パトロール時に出会った人に手渡しするとともに、開山堂にも設置を予定しています。
2. 前年に引き続き、ホームページやインスタグラムによる情報発信を充実していきます。
3. 蕃山21の会発足30周年記念行事  
 当会発足記念日（10月29日）前後に写真展の開催を計画しています。

## 親しむ部会 活動計画（令和3年）

月 日	集合場所	行事名及びコース
3月28日(日)	陸前白沢駅	早春の里山を歩く 白沢四山（前山～二の輪山～五郎山～箱倉山）
4月18日(日)	笹谷ゲート前	千古の歴史と伝説の道 笹谷古道を歩く 笹谷古道
5月8日(土)	四十八滝運動公園	ヤマブキソウを見に！ 七ッ森遊歩道（たがら森～鎌倉山）
6月6日(日)	泉ヶ岳大駐車場	縄文の森を歩く 桑沼～氾濫原
7月18日(日)	ピオトープ駐車場	蕃山のヴィーナスに会いに行く！ 蕃山（ピオトープ～萱ヶ崎山～ヴィーナス～ピオトープ）
8月8日(日)	奥新川駅	深緑の中で森林浴を楽しもう！ 奥新川
9月4日(土)	樽水ダム親水公園	蟻の戸渡りを歩く 五社山
10月24日(日)	水道記念館	紅葉の沢歩きを楽しむ 豆沢
11月21日(日)	グリーンピア第三駐車場	落葉を踏みしめて 岩沼グリーンピア
12月11日(土)	大梅寺前駐車場	初冬の蕃山 蕃山（小畑山～開山堂～萱ヶ崎山～西風蕃山）

注1) 集合時間は全て9:30分です。

注2) 10月24日の豆沢は沢歩きの為長靴・ストックを忘れずに。

注3) 行事参加費（保険料含む）会員300円 一般700円

注4) 持ち物：昼食、飲み物、帽子、手袋、雨具等

注5) 登山及びハイキングに適した服装と靴

参加申し込み： 叶（電話・ファックス：022-719-2660）

佐竹（電話・ファックス：022-225-5970）

電話は夜6時から8時の間にお願いします。

申込締め切りは：実施日の3日前

※悪天候・コロナ・その他の関係で中止または変更（集合場所・コース）になる場合がありますので必ず申込をお願いします。

## ふれあいの森部会 活動計画（令和3年）

月 日	作 業 内 容
4月5日(月)	林道の整備と草刈り ふれあいの森の現状把握と林道と駐車場の整備をする。
4月10日(土)	自然観察会 散策と春の草花等の観察をする。
5月7日(金)	林道及び遊歩道の整備他 林道及び1伐区の遊歩道と沢周辺の整備をする。
5月17日(月)	林道及び遊歩道の整備他 前回の続きをする。
6月4日(金)	遊歩道の整備他 2～5伐区の遊歩道及び沢周辺の整備を行う。
7月12日(月)	遊歩道の整備他 前回の続きをする。
9月10日(金)	林道の整備と草刈り他 林道及び車場の整備をする。
9月26日(日)	自然観察会 散策と秋の草花等の観察をする。
10月8日(金)	ササ刈り他 1伐区のササ刈り及び枯損木の片付けをする。
10月18日(月)	ササ刈り他 2・3伐区のササ刈り及び枯損木の片付けをする。
11月19日(金)	ササ刈り他 4・5伐区のササ刈り及び枯損木の片付けをする。
11月29日(月)	ササ刈り他 6・7伐区のササ刈り及び枯損木の片付けをする。

注1) 集合場所：岩元山国有林「ふれあいの森」

注2) 集合時間：現地9時15分、愛子駅9時

注3) 持ち物等：昼食、飲み物、作業に適した服装、下着等の着替え、タオル、軍手、作業靴、帽子等

注4) 作業は天候等により、変更になる場合があります。

参加者は事前に二村（022-263-3065）までご連絡下さい。

## 蕃山21の会 役員・顧問名簿

役職	氏 名	担 当	役職	氏 名	担 当
会 長	十河 弘		幹 事	塚本 一郎	保護部会長、広報部会、親しむ部会
	忍頂寺晃嗣	総務部会長			
副会長	二村 信也	ふれあいの森部会長	監 事	佐竹 朋江	会計監査
幹 事	三浦 昭一	親しむ部会	顧 問	石田 眞夫	
	忍頂寺裕子	会計、広報部会		深野 稔生	
	水澤 祐子	広報部会長、事務局		鈴木 宏一	
	叶 芳雄	親しむ部会長		佐藤 勉	
	佐竹 信治	親しむ部会		星 尚文	

## 令和3年 収支予算

自：令和3年1月1日 至：令和3年12月31日

### 収入の部

(単位：円)

項 目	前年実績	今年予算	内 訳
前年繰越金	454,338	409,516	
年 会 費	98,000	100,000	@1,000×100名
カ ン パ	93,000	80,000	
親しむ部会参加費	38,600	50,000	行事参加料
ふれあいの森部会参加費	0	0	〃
雑 収 入	1	10	受取利息
合 計	683,939	639,526	

### 支出の部

(単位：円)

項 目	前年実績	今年予算	内 訳
総 務 部	75,786	80,000	総会費、役員会費、口座徴収料金等
保 護 部 会	4,829	30,000	調査費等
広 報 部 会	126,620	130,000	会報作成費、印刷費、発送費等
親しむ部会	43,734	50,000	団体保険料、下見代、写真郵送料等
ふれあいの森部会	23,454	30,000	燃料費、草刈機使用料、蜂駆除費等
30周年記念事業費	0	200,000	写真展
予 備 費	0	119,526	
次年繰越金	409,516	0	
合 計	683,939	639,526	

## 総会を終えて

忍頂寺 晃嗣

今年の総会は、2月11日大梅寺旧庫裡において、30名出席のもと催されました。

新型コロナが終息しないなか、一部会員の中から強い開催延期の声がありましたが、県や仙台市の図書館が開いており、各地区の市民センターやNPOプラザ等の公共機関も注意をしながら開いていること、また、一日あたりの感染者数が2月に入り10人以下になってきたこと等を考慮して、総会は以下のことに留意し、開催することにしました。

- ① 非接触型温度計で体温を測定すること
- ② 手を消毒すること
- ③ マスクをすること
- ④ 私語を慎むこと
- ⑤ 話す人は、特定の場所に立ち、ハンドマイクを使って話すようにすること
- ⑥ 話す人と対面する人は、2m以上の距離を取ること
- ⑦ 換気に気をつけること
- ⑧ 総会は、なるべくスピーディに進行し、例年より短時間で終わるようにすること

総会終了後、元会長（現顧問）の深野稔生氏による講演（演題：「蕃山21の会発足時のよもやま話」）がありました。

蕃山が開発されそうになった時、それを阻止するために立ち上がったときの話などで、その中で愛知絢子さんのことなど私たちが知らなかったことを沢山伺うことができました。

総会及び講演会の開催場所として、大梅寺旧庫裡の使用をお許しくございました星住職様に心より御礼申し上げますとともに総会に出席していただきました会員みなさまに感謝いたします。

平成9年から平成13年まで会長を務められました、高橋義寛氏が令和2年6月5日お亡くなりになりました。元会長を偲んで平成19年の会報38号に掲載されたものをここに再掲します。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 蕃山のフジミドリシジミ

高橋 義寛

### 1. フジミドリシジミとは

日本には約230種類のチョウが生息しています。そのなかにゼフィルスと呼ばれているチョウの仲間が25種類含まれています。ゼフィルスとは、ギリシャ神話にでてくる西風の神ゼフィロスから名付けられたもので、日本ではミドリシジミの仲間がこの名で呼ばれています。

この仲間のチョウは翅（はね）を広げた大きさが35mm程度で、ミドリシジミ・オオミドリシジミ・ジョウザンミドリシジミのように表面が緑色をしたものが多いのでミドリシジミと呼ばれています。ところがアカシジミ・ウラナミアカシジミのように表面がオレンジ色をしているもの、ウラクロシジミのように表面が銀白色をしているもの、クロミドリシジミのように表面が黒色をしたものまでさまざまな種類が含まれています。

チョウの愛好家なら誰でも魅せられてしまう可憐なそして魅力に満ちたシジミチョウの仲間ですが、そのなかでも綺麗で人気があるのがフジミドリシジミです。

私が初めてこのチョウに出会ったのは、学生時代で蔵王連峰の峯々温泉でした。温泉の近くの山の斜面をキラキラと空色の光沢のある翅を太陽光線で反射させながら飛ぶ光景は、今でも目に焼きついてます。やっこのことで採集した個体は飛び古した翅の鱗粉が薄れたものでした。

その当時、フジミドリシジミは奥羽山脈のブナ帯に生息するもので、めったにお目にかかれぬ珍しい種類であると思っていました。

### 2. 蕃山での出会い

蕃山にはブナやイヌブナが生育しています

ので、フジミドリシジミがいるかもしれないと思い、蕃山21の会結成以来登山路のわきのイヌブナの細い枝をたぐりよせては卵がついていないか見ていたのですが、なかなか見つかりませんでした。ところが平成7年7月29日偶然フジミドリシジミの成虫と出会うことができましたのです。

その日は東北学院の生物の先生と生物部の生徒2名とともに蕃山の山岸で昆虫採集をしていました。昼前には気温が30℃近くまで上がり、昆虫たちも姿を見せなくなりました。

涼しい所へ行けばいるかもしれないと思い近くの沢に入ってみました。石だらけの沢を登っていくと、ひときわ大きな石の上にシジミチョウが止まっているのを発見しました。



フジミドリシジミの成虫（♀）

そーっと近づいてみると、フジミドリシジミでした。カメラをかまえ2枚撮影し、さらに近づいて1枚撮りました。シャッターの音に驚いたのか、フジミドリシジミは飛び立ち近くの林へ消えてしまいました。そのときの翅の表の色から♀であることが判明しました。もしかしてまた戻ってくるのではないかと、しばらく待っていたのですが、再び会えるこ

とはありませんでした。

### 3. 卵の採集と飼育

フジミドリシジミの成虫がいるのですから卵もあるはずですが、蕃山の観察会のつどイヌブナの細い枝を見ていたのですが、なかなかみつかりません。やっと見つけたのは平成9年10月25日のことでした。百年森でイヌブナの細い枝についた1卵を発見しました。

本格的に調査をしたのは翌年4月5日でした。宮城昆虫同好会の会員4名の協力を得て山岸コースから入り百年森を経て栗生西コースに下るルートで調査をしました。

その結果は次のとおりでした。

卵の状況	卵数	食樹
卵殻（中からはらっぱ）	4	イヌブナ
穴開き卵（中に幼虫）	1	〃
寄生虫（卵に穴）	1	〃
正常卵	6	〃
合計	12	

寄生虫とは体長が1mmほどの小さな蜂がフジミドリシジミの卵に卵を産みつけ、孵化した蜂の幼虫は卵の栄養分を食べて成長し、成虫となって出てきます。卵に成虫が脱出した穴があるので、すぐ分かります。

わずか1mmほどのフジミドリシジミの卵にも寄生する蜂がいるのですから驚きです。もっと大きなモンシロチョウやアゲハなどには幼虫に寄生する寄生蜂や寄生蠅が沢山います。野外で採集した幼虫を飼育すると、大半が寄生されて、せっかくの飼育の世話が台無しになることがよくあります。

正常卵6卵は2人で3卵ずつ分けて飼育することにしました。次に飼育の過程で観察された面白いフジミドリシジミ幼虫の生態を紹介します。

### 4. 面白い幼虫の生態

フジミドリシジミの卵3個は4月7日、8日、9日にそれぞれ孵化しました。2匹はイヌブナの芽にもぐったまま出てこなくなりましたが、1匹は順調に育ちました。

4月17日幼虫の写真を撮ろうと、2枚つづつイヌブナの葉を開いたところ3齢幼虫になっていました。葉には幼虫が出した小さな

黒い糞が10個ほど表面の白い毛の間に転がっていました。

（注）チョウの幼虫は孵化したばかりの幼虫が1齢幼虫で、成長して脱皮をすると2齢幼虫になります。ほとんどのチョウは5齢幼虫まで成長し、脱皮してさなぎになります。



フジミドリシジミの幼虫

写真を撮りながら見ていたら、幼虫は黒い糞を頭で押した後、口でくわえて葉の縁まで運び外へ捨てました。そのような行動を何回か繰り返して2分くらいで綺麗にしてしまいました。フジミドリシジミ幼虫の綺麗好きに感心いたしました。

### 5. さいごに

蕃山のフジミドリシジミはその後どうなっているのだろうか気になっていましたが、なかなか機会がなく調査をしていませんでした。宮城昆虫同好会の月例会で話がもちあがり、今年2月12日に調査を実施しました。

3名で西館跡から入り登山路の両側のイヌブナの細い枝をたぐりよせて卵を探すのですが、なかなか見つかりません。登るにつれてイヌブナの枝が切られているのが目につくようになりました。高枝鉋で切ったらしく直径1～2cmほどの枝が切り取られていました。

フジミドリシジミの卵をねらって切り取ったことは明らかです。所々に切り取った枝が捨ててありました。心ない同好者の仕業のようです。

平成3年以来蕃山の自然を守る活動を続けてきた私にとって、このような行為は許すことができません。初めて見た破壊行為ですがこのようなこともあるということを認識してみんなで協力して監視していくことが今後の課題として浮かび上がった気がします。

## 愛知さんと蕃山21の会

令和2年10月5日、愛知絢子さんがお亡くなりになりました。

愛知さんは、蕃山21の会を立ち上げた草創期のメンバーの一人でした。

愛知さんがおられなかったら蕃山21の会も生まれず、蕃山はゴルフ場か住宅地になっていたと思われます。

蕃山21の会は、1991年に発足してから、今年で30年を迎えます。

この会がこれほど長く続いたのも、愛知さんの後押しがあったからです。

政治家の妻であることから前面に出ず、一市民として裏方に徹して見守っていただきました。本当にありがとうございました。

また、愛知さんは、子供達を「蕃山」や「ふれあいの森」に誘い、自然の中でのびのびと遊ばせてあげることなども積極的になされており、豊かな自然を未来に残し、伝える活動に身をもって取り組んでこられました。

どうか安らかにお眠りください。後は、私たちが蕃山を守ってまいります。

## 愛知絢子さん ありがとう

仙台市 遠藤 充

新聞にて愛知さんの訃報を目にした時は、ただただ何があったのだろうか、びっくりするばかりでした。

当会発足より、ん、年前の年号を昭和と呼んでいた時代のある夕暮れ、市役所前にあったが今は無き居酒屋「ねぼけ庵」通称㊸の縄暖簾をくぐり、松の木で出来たぶ厚い一枚板のカウンターの前に座ると端の方に、映画評論家でグルメとしても有名だったO. M氏が若い女性の方々と話がはずんでいるのが見られて、すこし離れて愛知さんが、たおやかで女性らしい雰囲気をかもしだして呑んでいました。東京などからいらっしゃった人を仙台らしい居酒屋としてよく案内していたとの事でした。

現在、仙台師走の夜、大勢の人々が楽しんでいるイベント「光のページェント」の始まりは、愛知さんが札幌の大通りで見たのをヒントに仙台商工会議所の青年部の方々に話をして始まり、最初のころは電源がケヤキの根元になくその為に非常に苦労した事など酒の

肴によく聞きました。

冬が近い季節になると、よく三越の前で募金の為に立っていた事など思い出します。

当会とはバブル時代、蕃山の東側が開発されそうになった時、大梅寺の智雄和尚さまが愛知さんに相談し、当会を立ち上げ、以後愛知さんは陰に陽に当会を支えて下さいました。

子供達に自然のすばらしさを教え、さまざま人の中に入り、いろいろな喜びを共にあじわい、朗く、いつも楽しんでおられました。とくに酒の嗜み方はお見事と感じておりました。ある時、70歳になったら作りたていから見本にする盃を貸してほしい、といわれ手渡しました。出来上がり、いただいた盃には中央に㊸とあり、酒文化にこだわっていたのだと新たな思いをしたものです。

まだまだやりたいことがいっぱいあったことでしょう。

愛知絢子さん ほんとうにありがとう

合掌

## 『リアスの森便り』 VOL. 17

南三陸町 後藤 一磨

二度目の非常事態宣言が多く自治体に出され、身動きがままならない状況にある。宮城県も東北では最多の感染者数で、いつ宣言がだされるか心配である。いったい、新型コロナウイルスとはどんなウイルスで、何是、今人類を困らせる事態となったのであろう。罹患せずとも経済が回らず、生きていけない状況となっている。

ウイルスの歴史は古い。地球上に生物が誕生した頃からの生物で、私たち人類が生まれる以前から存在していた。生命進化の過程で様々な形で生命体同士の結びつきがあったようで、ミトコンドリアなど他の生物を体の一部として取り入れ進化する事も行われたと言われる。私達人類のDNAの中にコロナウイルスから頂いたものがあるというのだ。驚くほかない。そうした事から考えると、コロナウイルスが敵とはいえなくなってしまう。そうしたものが、何是、今私たちを苦しめているのか…。

人類＝ホモサピエンスと呼ばれる動物は、するどい爪も牙も持たない弱い裸の猿である。

その人類が今地球上に存在する生物の頂点にあり支配するに至ったかは、頭脳の発達と意志の伝達により共同作業が出来る事だと言われる。道具を発明し、それを使い頂点に立った。

人類の活動により地球上から消えていった生物は数知れない。

明治の始め頃30億人程だった世界人口は今や80億に達しようとしている。ただ、数が多くなっただけではなく、彼等が持つ欲望はたぶん10倍を超えているだろう。小さな地域を活動の場所としていたものが、グローバル経済の名の下に世界が活動の場所として広がった。競争も激しい。全ての人が豊かな生活を

求めた結果はどうだろう。資源の枯渇、地球温暖化と様々な問題が表面化している。そんな中で新型コロナウイルスは生まれた。

自然の生態系は互いのバランスによって維持されるが、そのバランスを崩しているのが人間であるとすれば、バランスをとる手段として新型コロナウイルスが発生したのかもしれない。そんな思いもしてくる。飢餓、飢饉、疫病の流行により、江戸時代までは3～4千万人以上人口は増えなかったのだから。いずれ温暖化が進めばそうした事が現実となってしまうだろう。とすれば私たちは今それに気づき、自分たちの努力でそれを避けなければならない。

ホテル観洋所有の森で、私たちは生きる事の意味を考える活動をしている。生きるとは「命あるものを頂いて、命をつなぐ作業である事、命を支える食料は葉緑素を持つ植物に始まり植物連鎖によってそれぞれの命が保たれている事、決してお金が命を支えているのではない事」を活動を通して学んでいる。

リアスの森に始まり、水を介して志津川湾へと命のつながりが広がっていることを五感で感じている。大自然の営みとそのささえの中に私達の生活はあり、共に生きるつながりの中に生きる術がある。

コロナウイルスを単なる敵とせず、コロナから何かを学び未来への指針としたい。早い終息を願いながら…。

## 『東北地方6県のフィールドで 出会った絶滅危惧種のチョウ』 VOL.2

仙台市 二村 信也

チョウの多くが絶滅の危惧に瀕しています。自然の豊かな東北地方でさえ、オオウラギンヒョウモン、オオルリシジミなど特に草原性のチョウが姿を消してしまっています。かつて人間が生活するために利用していた草地(茅葺屋根や肥料、家畜の飼料など)は必要がなくなるとともに失われ、同時に草原に生息

していたチョウも必然的に消えざるをえなくなりました。ゆえに、チョウは自然環境の変化の指標として優れているといわれといます。

(おことわり)：前51号VOL.1でツマジロウジヤノメを絶滅危惧Ⅱ類としましたが、指定地域が四国のみでした。



チャマダラセセリ  
岩手県 絶滅危惧ⅠB類



ペニヒカゲ  
山形県 準絶滅危惧



カパイロシジミ  
青森県 準絶滅危惧



チョウセンアカシジミ  
山形県 絶滅危惧Ⅱ類



クロシジミ  
山形県 絶滅危惧ⅠB類



ヒメシジミ  
宮城県 準絶滅危惧



ギフチョウ  
山形県 絶滅危惧Ⅱ類



ゴマシジミ  
岩手県 準絶滅危惧



オオゴマシジミ  
山形県 準絶滅危惧

# 仙台湾沿岸の海岸防災林再生の取組

仙台森林管理署 署長 米田 雅人

## 1 海岸防災林の再生

平成23年3月11日、午後2時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。この巨大地震に伴い仙台湾に押し寄せた津波は、仙台湾沿岸区域の海岸防災林の多くに壊滅的な被害をもたらしました。

被災した海岸防災林は保安林であり、海からの強風、飛砂、高潮の害などから田畑や人家などを守るうえで欠かせない森林であることから、早期の再生を目指し、国有林をはじめとして、民有林についても宮城県からの要請を受けて、県に代わって国が直接に治山事業を実施する民有林直轄治山事業として、仙台森林管理署で平成24年より復旧工事に着手しました。

## 2 海岸防災林再生の方法

### (1) 生育基盤盛土の造成

仙台湾沿岸のクロマツの多くは、津波の波力に耐えられず根返り（根ごと倒木）して流出しましたが、仙台湾沿岸は、地面の浅いところに地下水があることから、根が深く伸ばせないことが原因とわかりました。このため、根系の健全な成長を確保し、根返りを起こしにくい森林とするため、地下水位から2～3m程度の盛土を造成（生育基盤盛土工）した上で植栽を行っています。

### (2) 防風柵、防風垣の設置

仙台湾では夏は海からの強風、冬は山からのいわゆる「蔵王おろし」が主風となるため、防風柵とそれを補完する防風垣を設置して、苗木を守っています。

### (3) 盛土の掻き起しと素掘り水路の作成

苗木を植えるための盛土は、植栽木が育ちやすいように柔らかい盛土にする必要がありますが、盛土箇所は重機で敷きならすことか

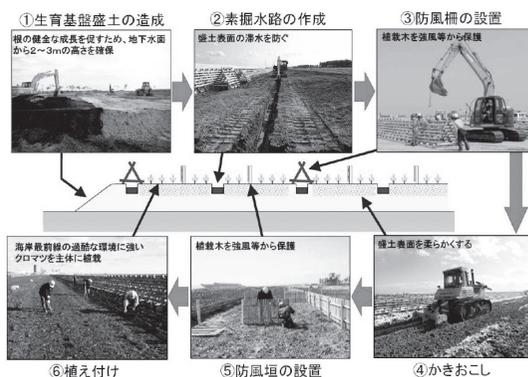
ら、表面が固くなります。そのため表面を掻き起こし柔らかくして植栽を行っています。

また、盛土表面の滞水を一時的に集める素掘り水路を作設し、滞水をゆっくりと浸透させることも行っています。

### (4) 抵抗性クロマツの活用

海岸防災林の苗木は、クロマツを主体に植栽していますが、松くい虫の被害対策のため、植えるクロマツについては、松枯れに抵抗性を持つ品種（抵抗性クロマツ）を用いています。

### 海岸防災林の復旧工程



## 3 海岸防災林再生に係る取組

### (1) 生物多様性保全への配慮

海岸防災林の復旧にあたって、防災機能と生物多様性保全との調整を図るため、「仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全検討委員会」を設置し、各分野の有識者等からの意見を聴取して、自然環境を保全するエリア、復旧を行うエリアに区分し、復旧を行うエリアについては防災機能と生物多様性保全との調整を図りながら、事前の環境調査等を行い生育基盤盛土の区域を設定する等の対応を行いました。

### (2) 活動希望者との協定締結

海岸防災林の再生にあたり、国有林の一部の箇所において、海岸防災林の再生のための

植栽や保育活動を希望するNPO、企業等の民間団体を公募し、「社会貢献の森」協定を締結したうえで植栽等に取り組んでいただいています。

#### 4 事業の完了と今後の取組

仙台湾沿岸の海岸防災林の復旧について、盛土は平成30年度（2018年度）、植栽は令和元年度（2019年度）にそれぞれ終了し、令和2年度（2020年度）は補植や下刈などに取り組んできましたが、令和2年度末をもって仙台湾沿岸海岸防災林復旧事業が完了し、民有林直轄治山事業実施箇所についても、宮城県へ事業を返還することとなりました。

これまで、クロマツなどの植栽木は順調に育ってきており、地元自治体、事業体、NPO、地域住民の皆様など多くの方々のご協力に心

から感謝申し上げます。

今後も海岸防災林については、下刈、間伐等の保育を行い、将来的に被災前の美しいマツ林がよみがえるよう取り組んでいくこととしています。

岩沼地区 クロマツ生育状況



## Déjà Vu (デジャヴ)

仙台市 山崎 泉

なんたる虚無。なんたる寂寞。個の意識の外側の世界が無音のまま騒擾を迎えている。

人々は無言で足早に立ち去り、もはや飼いならされた思考の埒外に繰り上げられるこの騒擾に、考え続けることの困難、放棄、逃避、停止を抱え込み、それぞれの住処に帰るしかないのだ。未知なるもの、未曾有のもの、あってはならないもの、あるべきではないもの、想定内であろうと想定外であろうと対処しきれない現実にたじろぎ立ち尽くす。

「明るさは滅びへの道ではなかろうか」とは『右大臣実朝』に出てくる太宰治の言葉だが、バブル期のあの喧騒にも似た明るさはまさに滅びへの道へ向かう予兆だったのかも知れない。翻れば、現在のこの閉塞感は新しい社会

への契機であるのかも知れない。

0.0001ミリ。新型コロナウイルスの大きさである。アベノ布マスクの網目がほぼ0.01～0.1ミリ程度だからコロナは難なくすり抜けてしまう。ウイルスを野球ボールの大きさに例えれば網目の穴は23～230メートルもある。不織布マスクではもう少し小さく（0.003ミリ）およそ7メートルの穴になる。飛沫の大きさは約0.005ミリとされているので、計算上は不織布マスクなら飛沫防止にはなるだろう（隙間はさておき）。

ウイルスは40億年以上前から地球に存在しており、今回の新型コロナはそもそもは哺乳動物の細胞から飛び出して変異したものとされている。それがコウモリの細胞に寄生し

て進化したものだそうだ。今回の新型コロナに限らずSARS、MARSも動物由来だ。ヒトが自然を「開発」し、野生動物のエリアを侵食することによってヒトに寄生するようになったというのが科学界の定説である。『生物と無生物』の間、呼吸もせず代謝もしない鉱物のような存在がウイルスだ。

ウイルスの数は地球から見上げる星の数以上に存在すると言われているが、地球上のウイルスを一直線に並べると銀河系65個分の長さになるらしい（これを計算した人も珍しいが科学界にはこんな方もいらっしゃる）。もっと身近な例で言えば、ペットボトルのキャップの5分の1程度の海水中に1000万個のウイルス粒子が入っているといわれている。

つまりかなり身近な存在だということになる。それが今回のように目に見えぬ恐怖を与えているわけだが、このような光景（状況）は確か以前もあったはずだ。

久々の青空の下、雪に覆われた近くの緑道を、いまはほぼ日課となったノラネコたち（最近では「地域ネコ」というが）との語らいの散歩中に、ふと、「確か見た光景」をまた見ている感覚に襲われる。既視体験だ。

突き抜ける青空の下の静寂に包まれた街。眼に見えぬ恐怖が透明な被膜のように覆う街。

あの大津波と放射能汚染。新型コロナウイルスのような激烈な正体は見せないが、沈黙を続けたまま静かに汚染を続けるセシウム137。あの時、浪江の街で体験した虚無が緑道の下でよみがえる。

新型コロナウイルスの裏で密かに進められる汚染水の放流計画。40億年まえから存在するウイルスと違って、こちらは地球史上未曾有の事件である。

共通するのは「眼に見えない」敵が相手ということだ。しかも終焉が不明という点も似ている。また大きな共通点は人類による「開発」という名の自然破壊、自然への挑戦の結

果という点である。

最新の学説では、ヨーロッパの新型コロナウイルス重症化の大きな要因がネアンデルタール人の遺伝子にあるという（「Nature」誌に発表された）。現在の南アジア人（アフガニスタン、インド、ネパール、パキスタンなど）では50%の人が、ヨーロッパ人の16%がネアンデルタール人から受け継いだ遺伝子を持っているという報告もある。この遺伝子は日本人や韓国人、アフリカではほとんど発見されていない。とはいえ、日本でも重症化・死亡例が増えているので安心できるものではないが、あらためて驚くのは4万年前に絶滅したネアンデルタール人の遺伝子が50%の南アジア人、16%の欧州人に受け継がれていることである。

余談だが、たまたま『サピエンス全史』（著者：ユヴァル・ノア・ハラリ）を湯船につかりながら読んでいた。この書物では、私たちの祖先、ホモ・サピエンスが、生物として圧倒的に臂力が勝ることで知られるネアンデルタール人をなぜ制服できたのかについて、ホモ・サピエンスが集団をまとめ上げる信仰や宗教、政治体制、法律、通貨、文化と言った「上位概念」（実体はない虚構のシステム。日本では吉本隆明氏がこの虚構のシステムのことを「共同幻想」として定義づけていた）を生み出し、信じる力があつたからだ結論付けている。

ネアンデルタール人は絶滅したが、ホモ・サピエンスとの混合もあつたため、4万年後の現在も現代人に引き継がれているわけだ。このネアンデルタール人の遺伝子の中に新型コロナウイルスによって重症化を高める要因があるらしい。

またまた余談だが、私が仕事以外の本を読むのは風呂に入っている時に限るが、蓋を全開でお風呂に入れることは滅多にない。我が

家のネコが蓋を占領し、そのため蓋を3分の1だけ開けて入っている。本を読む傍でネコが毛づくろい（湯気で濡れる）したり、葉紐で遊んだり、何とも穏やかな時間である。

本読みの集中力が切れると目の前のネコにちょっかいを出してみる。そのまま腹出しをする時と「うささいよ」と言わんばかりに出て行ってしまう時がある。この気分の加減はいったいどういうものだろうと考えるが、答えは出ない。風呂場からは出るが、私の入浴が済むまで扉の前でじっと待っている。毎日この不思議の連続である。こういった行動の解釈はいろいろできるが所詮人間のロジックで考えたものに過ぎない。ネコのことを書き出すとどんどん横道に逸れていき、やがてその方が主題になってしまうのでやめよう。

本題に戻ろう。

Déjà Vu（デジャヴ）。既視感（既知感ともいう）が最近多い。何かの拍子に「これは前にもあった（見た）」シーンだ」と思うことが増えている。単なるボケなのか、時代は反省もなくてただ巡っているだけなのか不明であるが、多くの人がこの既視体験をしているのではないだろうか。心が疲れている時に出やすい現象と言われているが、気がつかぬうちに疲れているのだろうか？

新型コロナウイルスはそう遠くない日に治療薬が確立され、やがてインフルエンザと同程度の怖さに落ち着くだろう。ワクチンは当分当てにならないと考えるのが正しいと思う。しかし、ホモ・サピエンスは何万年もの間、ウイルスと最終的には共存してきた。ウイルスは一般の生命体ではないから死ぬことはない。アルコール殺菌も「殺す」ために使うのではなくウイルスを覆うタンパク質を破壊し不活化（無毒化）するだけだ。勝てる相手ではない。負けないようにするしかないのだ。つまり共存していくしかない。

ではどうやったら「共存」できるのか？

残念ながら現状で分かっている方法は「予防行動」、つまり3密を避ける、手洗い、マスクと言った従来通りの予防方法と免疫力を高めるしかないようだ。新型コロナウイルスは自分で飛んで行ったり歩いて行ったりするわけではなく人が運ぶのだから一番いいのは人に会わないことだが、集団行動でこの地球を制してきた我々ホモ・サピエンスの子孫はひとりであることが難しい生き物のようだ。

とすればやるだけのこと（自衛）をやって、あとは運を天に任せるしかないのではないのか。種として生き残るために多少の犠牲は仕方がない——これが自然の摂理かも知れない。受け入れがたいことだが、ヒトが行動形態を変えなければ次なる感染症が出現するのは確かなことだ。今こそホモ・サピエンスの子孫として、この困難を乗り切る叡智を絞り出す時だろう。付け焼刃の対処法ではなく社会システム全体の転換であることは論を俟たないが、きっとあと100年くらいかかるのではないのか。あと100年くらい生きて次の世界を見てみたいものである。

あれこれ書いたが、実は現在自分にとっての重大関心事はノラネコ「クロちゃん」のことだ。近くの緑道に住み着くノラちゃんたち。ここはネコ好きには有名な場所だったようだ。毎日誰かがご飯をあげに来ている。何人もの人にあつたが、みんな交わるでもなく淡々とご飯を持ってくる。お蔭でここのネコたちは毛艶がいい。その緑道で出会った一匹のネコ、それが黒猫のクロちゃんだ。初めての出会いはもう5、6年前だろうか。人懐っこく、初めて会ったのに頭を撫でて逃げない。それどころかスリスリしてくる。10匹ほどいるノラの中でも一番可愛がられているようだった。やはり逃げるネコより甘えてくるネコの方に親近感が湧く。ここで自分は博愛主義者ではないことをあらためて確認。何年もの間、緑道で懸命に生きてきたネコたちの中でもクロ

ちゃんは眼差しそのものからとても健気に見えた。それ以来ほぼ毎日クロちゃんに会いに行くようになった。他の子たちにもご飯はもって行くが私の目当てはクロちゃんだ。家には既に4匹いたので連れ帰るわけにもいかない。

そのクロちゃんが令和2年師走の雪の日に新勢力に追われて住処を変え、一匹だけポツンと雪の上に小さくなっていた。目ヤニもでてどこか元気がなく、他の人たち（緑道に来る人々）も心配していた。なにせクロちゃんは今や最年長になっていたのだから。年末の天気予報は良局的中していた。大晦日は絶対雪が降り、クロちゃんもこの冬は絶対乗り切れないと確信した。他の人たちもみんなクロちゃんのことを案じていた。この冬は何とか乗り切ってもらおう。意を決して我が家の庭に越冬用の小屋を作った。一晩そこに泊めて1月1日からは私の仕事部屋にゲージを作り、他のネコたちと接触しないようその中で過ごして貰うようにした。ノラの場合、ネコエイズや他の感染症にかかっているケースが多いため病院検査が済むまでは絶対接触禁止である。

正月も明け動物病院に連れて行った。そこで異変が起きた。家の中では外に比べたら天国のような温かさの中で心地よく（きっと）過ごしていたのだが、病院の診察台に乗った瞬間酷く咳き込み始めた。レントゲン、エコー、血液検査…なんと両肺に影が出ていて肺が酸素を溜めておけなくなっていた。肺炎の上に横隔膜ヘルニアがあり横隔膜を突き破って腸が肺を圧迫していたのだ。横隔膜ヘルニアは車にはねられたり、強く蹴られたりしてなるらしい。そういえば緑道の人にネコを蹴飛ばす中年がいると聞いたことがある。

車にはねられたとすれば緑道の誰かは知ってるはずだ。そうすると人懐こいクロちゃんのことだから警戒してないところを蹴飛ばされたのに違いない。

横隔膜ヘルニアは手術でもとに戻すしかないが、発症時期が分からず、長い間この状態で過ごしているとそれが恒常になり、手術で腸を戻すと今度は腹腔が耐えることができずに死亡リスクが高く、手術はあまり勧められないとのこと。

しかもネコエイズが陽性だった。

高濃度酸素室に入り、一日中点滴を受けてるがまだ回復のめどが見えない。早1週間になる。回復したとしても以前のように走ったりはできないという。何とかお家に戻って何週間でも何か月でも何年でもあったかい部屋で暮らしたいと願う日々なのだ。

お医者さんに聞かれた。「これまでずっとノラちゃんでいたのをどうして保護する気になったんですか？」咄嗟の質問に自分の心情を正確に言えなかったが、長年見ていて情が移ったということもあるが、多分このクロの眼差しに「縁」を感じたというのが正しいだろう。

.....

とここまで書いたが、今日クロの見舞いに行ったところ、容体が落ち着き呼吸もかなり楽そうになっていた。私の顔を見てニャアとひと鳴き。顔を撫でてつけてくる。退院の許可も出た。明日退院だ。ほかのネコたちと接触しないよう部屋作りだ。とにかく一旦は家に帰れることになりホットするのも束の間、明日の会計が恐ろしい…。

# 『友人と尾瀬にて』

## (幻に終わった「尾瀬水力発電ダム計画」)

仙台市 塚本 一郎

♪ 夏が来れば思い出す はらかな尾瀬遠い空… ♪、尾瀬は確かに遠かった。平成30年7月、神奈川県在住の友人と会うため妻と二人で尾瀬に向かった。友人を尾瀬に誘ったのには理由があった。友人は、今は幻となった「尾瀬水力発電ダム計画」の詳細を知る関係者の一人である。また、私と友人は、尾瀬の水の利用を巡り、最高裁まで争った発電事業者（電力会社）のOB同士でもあった。

仙台を早朝5時に車で出発し、白河インターで下り、福島県南会津を通過し、桧枝岐村の尾瀬御池駐車場に着いたのは11時であった。御池駐車場からシャトルバスで尾瀬沼山に移動し、少し休憩した後、登山を開始した。

沼山峠を目指して木道を登っていくと、小学生50～60人の集団とすれ違った。埼玉県から来たといい、みんな元気に挨拶をしてくれた。

沼山峠を下っていくと、はるか前方に尾瀬沼が見えてきた。尾瀬沼の手前には大江湿原があり、そこには今の時期、ニッコウキスゲが群生しているはずである。尾瀬の魅力といえば、なんといっても高層湿原に咲く可憐な花々であり、中でもミズバショウや目の覚めるような黄色が印象的なニッコウキスゲである。

しかし、大江湿原に差しかかってもニッコウキスゲが見当たらない。そんな筈はないと思いつつ、湿原をよく見ると、ニッコウキスゲの花の蕾が摘み取られたように無くなっているのに気付いた。まるで頭のない人形のように、茎の部分だけは残っている。改めて見渡すと、ほとんどのニッコウキスゲがその

ような状態であった。ニッコウキスゲの周りのアブラガヤがやけに目に付いた。

木道を歩きながら人間の悪戯にしては度が過ぎる、常識のない大人もいるもんだ、など考えながら気が付くと、尾瀬沼ビジターセンターに着いた。

そこで遅い昼食を食べながら、係の人にニッコウキスゲの蕾が無い原因を訊ねると、ニッコウキスゲの蕾はシカの好物で、シカが全部食いちぎった、とのことであった。

人間の悪戯では無いと分かって一安心したものの、しかし、自然保護が行き届いている国立公園で、貴重植物がシカの被害にあっている惨状は、何とも割り切れないものがある。

休憩後、尾瀬沼の淵を見晴地点目指して木道を歩いていると、「鹿駆除中」の看板が目につくようになり、そのうちに木道上でシカと出くわした。シカはじっと私達を見て、動こうとしない。私は心の中で、シカに対し“ニッコウキスゲの犯人はお前か”と訊いた。これに対し、シカは“生きていくためには何でも食べる、人間だってシカの肉を食べるではないか”との返答があったような気がした。

私は歩きながら、今後もおそらくシカが増えていく中で、広大な尾瀬を全て防護柵で囲うのは現実的ではないので、効果的な防護対策としては、優先的に保護するエリアを定めて人とカネを掛けていくのかな、などと考えながら歩いていくうちに「見晴」に着いた。

「見晴」には山小屋が6軒あり、今晚の宿泊客と思われる人たちが思い々に休憩していた。ここの標高が1,400mもあるせいか、7

月中旬なのにそれほど暑いとは思われなかった。ある小屋の庭のベンチで小休止した後、目指す宿泊先の山小屋を目指して尾瀬ヶ原を小一時間程歩くと、ようやく宿泊小屋に辿り着いた。登り始めた尾瀬沼山からここまで起伏の少ない木道を歩くだけであったのでそれ程疲れは感じなかった。群馬県片品村の鳩待峠を経由してきた友人夫妻はすでに到着していた。

尾瀬は二回目であるが、前回（7年前）は悪天候で、ガスもかかり、散策もままならず、一日中宿で過ごしたが、今回は幸いにも天候に恵まれた。

二日目は、友人と尾瀬ヶ原を散策することになっており、まず向かったのは有名な大瀑布「三条ノ滝」であった。トレッキングコースから只見川に向かって約100m程急勾配を下っていくと、「三条ノ滝」が一望できる展望台に着いた。

尾瀬沼や尾瀬ヶ原の水がこの「三条ノ滝」の上流地点で合流し、只見川となって流下しており、ガイドブックでは高さ100m、幅30mとなっている。7月になれば、普通の河川は濁水が始まっているが、尾瀬はまだ雪解け水が豊富に流れている。この雪解けが遅いことは、水力発電にとっては大きなメリットがある。

休憩しながら滝を眺めていると、友人が“滝（川）の流量はどの位あると思う？”と訊いてきたので、私は川幅や水位等から“20m<sup>3</sup>/秒前後かな”と返答したところ、友人もほぼ同じ計算であった。（参考：和歌山県那智勝浦町の「那智の滝」は1m<sup>3</sup>/秒程度と言われている。）私は、“友人は水力発電所建設の仕事に長く携わってきたので、仕事を通じて身に着いたノウハウ、スキルは未だ衰えていないな”、と内心思った。

友人に、“[ダム計画]（※）は、あの滝の直上流地点にダムを築造する計画であったの

か”と訊くと、友人は“その通り、あそこしか適地がない”と、私の顔を見ながら説明してくれた。私もダムを築造するとなれば、尾瀬の水が全部集まり、かつ川の両岸が迫っているこの地点しかないと思っていた。尾瀬に来た目的の一つが達成できホッとした。

【※「ダム計画」とは：「尾瀬水力発電ダム計画」のことである。昭和初期に国は産業振興と食糧増産を目的に、全国の湖沼を利用した水力発電計画を策定し、尾瀬も例外でなかった。

この計画は、尾瀬にダムを築造して尾瀬ヶ原を水没ダム湖化し、その豊富な貯留水を水力発電に利用するとともに、下流の灌漑用水にも利用するというものである。

友人の会社（前身）では、この計画の実現に向け、必要な用地を買収するとともに、「水利権」（河川水を発電等に利用する権利）を取得し、いよいよ着手のはこびとなったが、地元の猛反対に会い、容易に着工できなかった。

また、友人の会社では、ダムで貯留した水を従来の只見川ではなく、他流域の信濃川水系（新潟県）に流下させる計画であったことから、戦後の復興需要で多くの電力を必要とする中、水力発電を主要電源としていた当社にとっては、只見川の流量減少により、水力発電量が低下することから係争になった。当時、この只見川の水力発電所で発電された電気は仙台にも送電されていた。

この係争は、最終的には最高裁で決着することになり、尾瀬の水は従来どおり只見川に流下させることになり、会津地方を経て阿賀野川に注いでいる。昭和30年代初めのことである。

その後、友人の会社は、尾瀬水力発電に係る「水利権」を数回更新してきたが、最終的に今から20年程前に放棄したのである。】

私は、「三条ノ滝」の上流にダムが築造された場合、滝は現在のような大瀑布ではなく、ダムのゲートから漏れ出る水が一本の細い「白糸ノ滝」になって流れ下っている光景を思い浮かべた。友人は「尾瀬水力発電計画」が尾瀬を「自然保護発祥の地」にしてしまった”、と自嘲気味に話していた。

私が“なぜ「水利権」を放棄したのか、また、尾瀬の水を信濃川（新潟県）ではなく、首都圏の水瓶とすべく利根川水系に導水したら世論の支持が得られたのではないか”と訊くと、友人は“私がこの業務を引き継いだ昭和50年代初めは、本計画は社内で棚上げされていた状態で、いずれ「水利権」の期限が切れる時点で処理するという状況であった、また、世論は、水の利用論というよりは、尾瀬の自然を残すか残さないか、というラジカルなものであって、水の利用と自然保護は根本的に相容れないものであった”と、詳しい事情は話さなかった。

私は、「尾瀬水力発電ダム計画」は今となってはどうでもよい話であり、また今後の尾瀬の自然に何ら影響をもたらすことではないので、この話題はこれで打ち切ることにした。

しばらくすると、「三条ノ滝展望台」に続々と人が下りてきたので、滝を後にし、急勾配の坂道を登り上がり、元のトレッキングコースに戻り、尾瀬ヶ原を散策することにした。尾瀬ヶ原の木道を歩いても大江湿原と同様、ニッコウキスゲはほとんど見付けられなかったが、所々にコバイケイソウの白い花、キンコウカの黄色い花が咲いていて、池塘にはヒツジグサが白い大輪の花を咲かせていた。

木道を歩いていると、腐食劣化してきている木道が目立つ中で、あるエリアの木道は劣化が殆ど無いことに気付いた。これについて友人は、“木道の機材はヘリ運搬し、毎年数億円をかけて取替をしている”との説明があり、現に実施されていた木道取替工事を目の

当たりにした。二日目の行程は、この湿原トレッキングで終了した。この夜も昨夜と同様、満点の星空は期待外れであった。

三日目の朝、友人と別れた後、私達は「燧ヶ岳（ヒウチガダケ）」（標高2,356m）経由で桧枝岐村の尾瀬御池駐車場に帰る予定である。見晴新道コースは最短なコースであるが、直登に近い難コースである。見晴地点を過ぎ、シラビソの樹林帯を抜けて登山開始したのが朝7時であった。

登山コースの殆どが岩石と樹林の中であり、下山してくる登山客と出会うこともなく、目の前の壁を木の根を伝いながら登っていくと、ようやく11時頃頂上に着いた。頂上から見える風景は、四方の山と眼下の尾瀬沼、尾瀬ヶ原である。天気も晴れていて、コップ一杯のスポーツドリンクの美味しかったことを今でも覚えている。

目で「燧ヶ岳」の麓から伸びている木道を辿っていくと、その先には「至仏山（シブツサン）」（標高2,228m）が悠然とそびえていた。尾瀬ヶ原を東西に挟んでそびえる「燧ヶ岳」と「至仏山」は、東大寺南大門に立つ阿形像と吽形像のように、尾瀬の守護神のようにも思えた。

私は、尾瀬ヶ原がダムによって水没し、満々と水を貯めた湖面がキラキラ輝いている光景を想像してみたが、尾瀬には今の風景が似合うと思った。至仏山がこちらを見て微笑んでいるような気がした。

仙台に帰る車を運転しながら何か忘れ物をしたような気がしていたが、朝もやに包まれた湿原の幻想的な風景を見ることを忘れた、と気が付いたのは郡山付近であった。

# 蕃山21の会会則

## 第1章 総 則

### 第1条 (名称)

この団体は、蕃山21の会(以下「当会」という)と称する

### 第2条 (事務所)

当会は、主たる事務所を総務部役員宅におき、事務局を兼ねる。

### 第3条 (目的)

当会は、蕃山及びこれに連なる優れた自然環境並びに自然と一体となっている文化・社会・歴史環境に配慮しながら自然を保全し、多くの人々が自然に親しみ新たな緑の文化を創造して、将来の世代に引き継ぐことを目的とする。

### 第4条 (事業)

- 1 当会は、第3条の目的を達成するために、次の事業を行う。
  - (1)蕃山及びこれに連なる自然環境及び文化・社会・歴史環境の保全活動
  - (2)多くの人々が蕃山及びこれに連なる自然に親しむ活動
  - (3)新たな緑の文化を創造する活動
  - (4)自然の生態系などの調査・研究
  - (5)自然保護に関する普及・啓発
  - (6)ガイドの指導・養成
  - (7)諸団体との連絡・協力・提携
  - (8)自然保護基金の設置・運営
  - (9)その他当会の目的を達成するために必要な事業
- 2 当会は、原則として政治上・宗教上の活動はしない。

## 第2章 会 員

### 第5条 (会員)

当会会則の目的(第3条)に賛同し、入会を申し込んだ者は、会員となることができる。

### 第6条 (年会費)

年会費は、1,000円とする。

### 第7条 (資格喪失)

会員が、次の各号に該当する場合には、資格を喪失する。

- (1)退会したとき
- (2)死亡したとき
- (3)役員会で退会の認定をしたとき
- (4)会員の住所が不明になったとき

(5)会費を三年間継続して未納したとき

### 第8条 (退会)

会員は、いつでも退会を申し出て退会することができる。

### 第9条 (会費の返還)

既納の会費は返還しない。

## 第3章 役 員

### 第10条 (役員の種類)

当会に次の役員をおく。

- 会 長 2名以内
- 副会長 3名以内
- 幹 事 若干名
- 監 事 3名以内。

### 第11条 (選任及び任期)

- 1 役員は総会において選任する。
- 2 任期は2年とする。ただし、再任を防げない。  
役員会は役員が欠けたとき又は業務の執行上必要があるときは、役員を選任することができる。

### 第12条 (職務)

- 1 会長は当会を代表し、その業務を統括する。
- 2 副会長は、会長補佐し、会長事故あるときその職務を代行する。
- 3 幹事は、当会の業務を執行する。
- 4 監事は、当会の会計を監査する。

### 第13条 (報酬)

- 1 役員は無報酬とする。
- 2 役員には費用を代弁することができる。

## 第4章 総 会

### 第14条 (種別、時期、招集及び権限)

- 1 定期総会と臨時総会とし、総会は会員をもって構成する。
- 2 定期総会は、年1回、会計年度終了後3ヶ月以内に開催し、会長が招集する。
- 3 臨時総会は、役員会が必要と認めた時又は会員の10分の1が議題を示して請求したとき、1ヶ月以内に会長が召集する。
- 4 総会は、この会則において定めある事項のほか、当会の運営に関する重要事項を議決する。

### 第15条 (議長、議事録)

- 1 議長は、その総会において選出する。
- 2 議案は、出席会員の過半数で決する。可否同数の時は、否決とする。
- 3 総会の議事については、議事録を作成し、議事録署名者の承認を受ける。議事録は事務所に備えおく。

## 第5章 役員会

### 第16条（構成、招集、権限）

- 1 役員会は、役員をもって構成する。
- 2 役員会は、会長が必要と認める時、召集する。
- 3 役員会は、この会則で別に定めるほか、次の事項を決議する。
  - (1)総会に付議すべき事項
  - (2)総会で決議した事項の執行に関する事項
  - (3)その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

### 第17条（部会）

- 1 当会の業務を円滑に執行するため、次の部会をおく。  
総務部会、保護部会、広報部会、親しむ部会、ふれあいの森部会。
- 2 役員会は、必要に応じ特別の部会をおくことができる。

### 第18条（議長）

役員会の議長は、会長がこれに当たる。

### 第19条（議事録要旨）

重要な事項について議決したときは、議事録の要旨を作成する。

## 第6章 顧問

### 第20条（顧問）

- 1 当会に顧問をおくことができる。
- 2 顧問は、総会の決議により会長が委嘱する。

## 第7章 資産及び会計

### 第21条（事業年度）

当会の事業年度は、毎年1月1日に始まり、同年12月31日に終る。

### 第22条（資産及び支弁）

- 1 当会の資産は、年会費、寄付金、事業収入、資産から生ずる収入、自然環境の保全及び活用のため取得した土地等の財産、その他の収入をもって構成する。

- 2 自然環境の保全及び活用のため取得した土地等は、その保全に支障のない範囲で一般に公開するものとする。
- 3 当会の経費は、資産の額を越えて支弁してはならない。
- 4 毎事業年度の収支計算における差額は、翌事業年度に繰り越すものとする。

### 第23条（決算及び監査）

- 1 会計担当の幹事は、毎事業年度の終了後遅滞なく、決算書を作成する。
- 2 会長は、決算書を監事に提出して監査を受けなければならない。
- 3 監事は、監査し監査報告者を作成して、総会に報告しなければならない。

## 付 則

- 1 この会則は、平成6年9月23日から施行する。
- 2 平成6年度の決算は、平成6年9月1日から平成7年6月30日までとする。
- 3 平成9年10月26日に、第2条、第10条、第17条、第23条1項を改正。同日から施行。  
平成9年度の会計年度は、平成9年7月1日から同年12月31日までとする。この決算は、平成10年度分と一括して平成10年度（平成11年1月から3月までに開催）の定期総会の承認を受けるものとする。  
平成9年の定期総会は、特別のこのない限り開催しない。
- 4 平成12年3月16日に、第3条（目的）、第4条（事業）、1項(1)(2)(3)(4)、第6条2項（年会費）、第10条（種類）、第12条3項（代表幹事）、第25条（決算監査）を改正。
- 5 平成13年3月15日に、第2条（事務所）を改正。
- 6 平成20年3月23日に、第5条（会員）、第6条（入会）、第7条（資格喪失）、第9条（不返還）、第10条（種類）、第11条（選任、任期）、第12条（職務）を改正。第6章協議員会、第20条（協議員）第21条（協議員会）前文を削除。第7章顧問、第22条（顧問）、第8章資産及び会計、第23条（年度）、第24条（資産、支弁）及び第25条（決算、監査）、の各条文を繰り上げ改正する。同日より施行。
- 7 平成28年2月14日に、第2条（事務所）を改正。



# 蕃山

## 「狐の往生」

くキツネ火(通称鬼火)が晩秋に見られていました。狐は稲荷神社に付き物ですが、稲荷神社の御神体ではなく稲荷神の使わしめで(秘書)のような存在です。しかし機嫌を損ねると願ひ事が届かなくなるので、狐の好物である油揚げを供えようになったのです。

又、「狐付き」現象もよく知られているところですが、突然奇妙な言動を起した人に狐が付いたという話が残されていますが、あまり狸が付いたという話は聞きません。これは狐の霊力が強く恐れられていたからかもしれない。

私は大梅寺に暮らして長いですが狸は目にしても狐は目にすることがありませんでした。

蕃山は昔から動植物が豊かです。伊達政宗公が巻き狩りをした際、徳川将軍に献上しようとした白鹿を勢子の一人が誤って殺してしまいました。当然死罪になるところでしたが、白鹿の菩提を弔うということで白鹿堂を建てたという話が残っています。その白鹿堂の跡地が大梅寺です。大梅寺開山雲居禪師はその功績から後に大悲圓満国師の称号を中御門天皇より賜り雲居国師と称されています。

雲居国師が蕃山の山頂、現在の開山堂(常寂光塔)で坐禪を組んでいると、周囲から熊鹿兎狐等の動物が集まってきた国師の周りに静かに座っていたと詩の中に記しています。野生の動物ですが、人に危害を加えることは無かったです。震災後蕃山周辺に熊や猪が出没するようになったり、参拝登山者に注意を促すための看板が寺の参道に設置されていますが、雲後国師の教えを受けた動物の末裔ならば、人に危害を加えないと思います。

多種の動物の中で昔話にあるのは、狐や狸は化けたり、人を化かしたりするということです。

以前「蕃山アラカルト」に狐のことを書きましたが、一般に狐や狸は同じイヌ科の動物ですが、同じ化け、化かしにしても狐は巧妙で恐ろしいが、狸は何か抜けていてユーモラスに描かれていることが多いように思われます。

大梅寺の檀家さんの娘が帰宅途中道を誤り蕃山に迷い込み村の人たちが捜索したところ夕暮時によく蕃山の中腹で発見したことがありました。本人はなぜ蕃山に登って行ったか覚えていないと述べたので、狐に化かされたのだと噂されました。

また、テレビ番組を見るため大梅寺に向かって山道を登ってきた村の子どもたち五〜六人が晩秋の五時半過ぎ、懐中電燈で山道を登ってきた時、途中の「現在石の仁王様のある所」で白い狐が座って手招きをしたという話があります。また現在西道路と折立団地に挟まれた墓地(当時は蕃山山麓)によ

今から数年前の二月下旬、帰宅中雪が降った後雪かきをして歩道を確保しましたが、私の前五〜六m先を歩く動物を暗闇の中に発見しました。日も落ちて月も出ていないのでその動物が何かは判明しませんが犬ではないかと思っていました。「シッ」と声を出して威嚇しても慌てず騒がず私との距離を保ちながら本堂前の方に姿を消しました。次の日にも同様に同時間帯その動物に遭遇しましたが、今度は旧庫裏の方へ姿を消しました。その後見かけることもなく忘れていましたが一週間後清掃にきた檀家の方から歴代住職の墓の前で動物が死んでいるという報告を受けました。見に行つたところ、以前私の前を歩いていた動物であると思えました。よく見るとイヌのように見えますが、尻尾が長く幅広く太い、口が大きく裂けている、毛の色は艶がなく汚れて体は痩せていたことが間違いなく狐でした。

一般に野生動物は自分の死期を悟ると、人目のつかない所で死ぬと言われています。私も野生動物の死体を目にした事はありませんでした。この狐は自分の死期を悟って、その場所を探していたのではないかと思いました。

雲居国師の教えを受けた狐の末裔ならば、その死に場所は雲居国師の開山堂にある歴代の住職の墓が一番相応しいのではないかと思つた時、私の前を歩いていた狐はその死に場所を探していたのだと確信しました。

頭が北向きになってたことも、流石、蕃山大梅寺縁の狐は違っている。大往生を遂げたのだと感心しました。

大梅寺住職 星 尚文

【編 集 後 記】 永年、当会の発展に尽力されてきた元会長の故高橋義寛さん、元会員の故愛知絢子さんのご冥福を心からお祈り申し上げます。

最近、桜の開花予報が聞かれるようになりました。新型コロナウイルスとの戦いが続く中、穏やかに花を眺めることのありがたみをつくづく思います。

以前、ある新聞に掲載された投稿「可もなく不可もなく、ありふれた普段の日。こんな日常が続くことが、どんな記念日より貴く、幸せなことなのだ」が心にしみみます。まもなく春がやってきます。コロナ禍で沈み込んだ社会情勢が好転していくことを待ちましょう。 水澤 祐子

◆発行日 令和3年3月1日  
 ◆発行 蕃山21の会 《事務局・宛先》〒981-3108 仙台市泉区松陵5丁目29番3号  
 TEL・FAX 022-372-7062 忍頂寺 晃嗣